

理事長 遠藤 啓吾
会長 隈崎 達夫

下記の通り決定致しましたので報告します。

名誉会員推薦基準内規

日本医学放射線学会の進歩発展に寄与した70歳以上(3月末で)の会員の内、以下の条件のいずれかを満たす会員を日本医学放射線学会名誉会員に推薦できる。

平成15年8月31日から実施する。

A 地方会推薦

1. 日本医学放射線学会会長または秋季大会長を務めたもの
2. 理事または監事を合計2期以上務めたもの
3. 総務理事(理事長)を務めたもの
4. 評議員または代議員を合計20年以上務めたもの

B 理事会顕彰小委員会推薦(年間1~2名程度とする)

1. 放射線医学領域の研究者で顕著な業績を残し、放射線医学の普及発展に貢献したものの
2. 放射線医学の振興のために日本医学放射線学会に貢献したものの
3. 国際交流により日本医学放射線学会の発展に寄与した外国籍の研究者(会員歴は問わない)

放射線科専門医更新単位取得制度規定について

理事長 遠藤 啓吾

放射線科専門医制度に関わる最近の医療制度の変化に対応するため、下記のように専門医更新単位取得制度規定を改訂します。(変更点を太字のイタリックで示す。)

なお、新しい規定は平成18年度から施行とします。

社団法人 日本医学放射線学会 専門医更新単位取得制度規定

目的：放射線科専門医(以下「専門医」と略す)の資質を向上させるため専門医の生涯教育を推進し、そのための単位取得制度を実施する。

単位の取得：専門医は5年間に60単位以上の履修をしなければならない。

単位取得の申請：

(1)申請に当たっては、過去5年間の実績を次にあげる申請書類にまとめ、審査料払込み後更新事務局に提出するものとする。

*申請時提出するもの

- 1) 学術集会等参加認定単位申請書(参加・受講証を添えること)
- 2) 論文認定単位申請書
- 3) 審査料 別に定める。

(2)申請は、専門医認定または更新認定後5年経過したものから毎年受け付ける。

(3)65歳以上の専門医で更新しない場合、申し出により名誉専門医となることが出来る。但し、その場合には、それ以後専門医を標榜できない。

単位取得の評価：提出された申請書に基づき、専門医認定委員会(以下「委員会」と略す)の審査を経て理事会が承認する。

単位：

(1)日本医学放射線学会の学術集会、および日本医師会・関連学会が主催する学術集会および委員会が生涯教育に適すると認めた学術集会に参加した場合に単位を与える。

(2)

学会・講演会名	単位
日本医学放射線学会学術集会	15
日本医学放射線学会秋季臨床大会学術集会	15
日本医学放射線学会地方会	5
日医放・専門医会共催冬季セミナー	10
放射線科専門医会ミッドサマーセミナー	10

上記の学会・講演会以外による単位は、その合計の上限を20単位とする。

(3) 学術論文の発表にも単位が与えられる。査読制度のある学術雑誌に掲載された論文については、第一著者10単位、第二著者以降2単位とする。査読制度がない学術雑誌に掲載された論文については、第一著者5単位、第二著者以降1単位を与える。但し、論文による単位は上限を1年間10単位とする。

更新の猶予：更新の手続きに関しては、特別の理由がある場合に限り2年間猶予できる。ただし、その理由を委員会に申告しなければならない。

専門医資格の留保：単位取得を満たすことができなかった専門医に対しては、その旨学会より通告して注意を喚起する。

この規定に従わなかった場合は、専門医制度規定第8条(5)により専門医の資格が取り消されることがある。

放射線科専門医認定試験 第14回 一次試験結果

理事長 遠藤 啓吾

日 時：平成15年 8 月29日(金)12：00～14：30

場 所：京王プラザホテル

試験方法：筆記試験 マークシートによる解答方式(問題については63巻 8 号(9 月号)巻末に掲載)

試験結果：願書提出者 259名 受験有資格者 259名 欠席者 8 名

受験者 251名中 合格者 225名

合格者氏名(五十音順)

赤木 弘之	秋田 行朗	明星 匡郎	雨宮きよみ	荒平 聡子
有坂有紀子	有村 健	荒川 利直	淡路 正則	安藤 慎司
居倉 博彦	居倉 美穂	池内 高志	石井健太郎	石川 雅基
市田和香子	石橋 龍之	和泉亜記子	磯田 拓郎	磯橋佳也子
磯橋 文明	伊藤 克哉	伊藤 大輔	伊藤 治彦	伊藤 博文
井上 敦夫	井上 快児	岩崎 康	岩田 賢	岩間 孝英
上野 彰久	植 博信	魚谷 健祐	内山 早苗	梅田 美夏
運天 忍	遠藤 珠生	呉 隆進	大井 博之	大成 妙
大野 良太	大橋 俊夫	大谷 秀司	岡田 博司	小川 心一
小澤福示郎	笠松 智孝	梶川みどり	梶原 誠	梶原 博生
片山 敬久	加藤さくら	加藤 幹愛	加藤 徳雄	加藤 扶美
加藤 誠一	金尾昌太郎	金親 克彦	金子 明義	金子智亜紀
金子 昌信	印牧 義英	河合有里子	川内 利夫	川瀬世津子
川中 崇	河野 匡哉	菅 剛	神田 響	菊川 薫
北詰 良雄	北村賀永子	北山 聡明	木根淵裕子	木村 純子
清原 浩樹	清原 省吾	黒岩 大三	楠 真一郎	楠 直明
工藤 元	久保田やよい	熊取谷 結	倉田 彰子	小岩井慶一郎
甲川佳代子	小坂 一斗	小坂 恭弘	越原 浩	五島 聡
後藤 一彦	小林 加奈	斉藤 千夏	酒井 美緒	坂本 郁子
坂本 香奈	佐藤 太志	佐藤 宏朗	佐藤 卓也	佐藤ひろみ
篠原 正裕	芝本健太郎	清水 孝一	下総 良太	杵原 良
杉本 央	鈴木 一廣	鈴木 孝信	鈴木 修	鈴木多佳子
澄川 裕充	高木佐矢子	高木 治行	高木 聡	高坂 功
高澤 展子	高橋 忠章	高橋おがわ	高柳 美樹	高山 幸久
田口耕太郎	武田 和奈	竹山 信之	立神 史稔	辰村 愛
田中 史穂	田中智香子	田邊 祥孝	為田 忠信	丹野 啓介
茅野 修二	津川 拓也	築山裕見子	辻 吉保	都築 和宏
堤 義之	徳永 正弘	鳥羽 隆史	豊川 和成	中條 正豊

中田 安浩	永谷 幸裕	中野 敬太	南郷 峰善	南里美和子
西井 俊晶	西野 水季	西原雄之介	西窪 美喜	二橋 尚志
根岸 孝典	根本 健夫	野津手志保	野見山圭太	野村あやの
袴塚 崇	橋本 泰年	長谷川雅一	八巻 利弘	服部 秀計
花田喜美香	林 真弘	林 完勇	原 唯史	原 武史
東山 滋明	東 龍太郎	久富 栄子	兵頭 朋子	廣瀬 朋宏
廣田 初音	藤岡 和美	富士原将之	藤 浩	藤本 直子
朴 道子	発知 啓子	堀見 克礼	本戸 幹人	前田すなほ
前田 雅子	前平 由華	牧 大介	松井 博滋	松浦 範明
松尾 周也	松島 信佳	松島 成典	松田 譲	松延 亮
三廻部 肇	宮坂 光俊	宮本 憲幸	村井 祐子	村上 友則
望月健太郎	本杉宇太郎	森岡 丈明	森澤 信子	森澤 容子
森下 哲	森田 彩子	森 暢幸	森本 賢吾	保本 卓
山口 智世	山下 恭	山下 修平	山下 英臣	山田 哲
山本 清誠	山本あゆみ	山本 浩之	矢原由佳子	横江 勇
横溝 美緒	吉村 宜高	米永 健徳	力丸 裕哉	若宮 誠
和田 敬	渡邊 芽美	渡辺 裕一	渡辺 智治	渡部 茂

放射線科専門医認定試験 第12回 二次試験結果

理事長 遠藤 啓吾

日 時：平成15年 8月29日(金)15:00~17:30(筆記)
 平成15年 8月30日(土) 8:30~17:00(口頭試験)

場 所：京王プラザホテル

試験方法：筆記試験 マークシートによる解答方式(問題については63巻8号(9月号)巻末に掲載), 口頭試験

試験結果：願書提出者 268名 受験有資格者 260名 欠席者 8名
 受験者 260名中 合格者 224名

合格者氏名(五十音順)

赤田 涉	浅川 勇雄	朝倉 浩文	浅野 隆彦	梓澤 広行
吾妻佐奈江	阿部 敦	有賀美佐子	有川 俊二	有本 博
安藤 正憲	飯田智二郎	五十嵐康弘	生口 俊浩	池田 恢
石垣 聡子	石川 愛巳	石川 修司	石川 浩志	石山 博條
井田健太郎	市岡 和浩	市川 泰崇	伊藤加奈子	伊藤 千春
稲岡 努	稲垣 弘	井上 秀昭	井上 征雄	井上 豊
井原 信麿	伊牟田真功	岩井 智郎	岩井 宏悦	岩野 信吾
岩間 裕基	植木 潤子	上田 忠	魚住 和史	牛島 泰宏
臼井 千晴	ウッドハムス玲子	宇野 幸子	馬ノ段智一	梅岡 成章
梅田 貴子	江頭 秀哲	遠藤 寛子	大内 宏之	大倉 享
大須賀香絵	太田さや子	太田 辰	大西田津美	大西 雅之
大橋 信子	大前 健一	岡田 真広	岡 正樹	小川 正一
沖本 智昭	奥泉 美奈	奥本 忠之	小倉 順子	小田 敦子
小畠 隆行	柿沢 秀明	柿原 大輔	柏木 淳之	加藤 伸之
金井 信恭	鐘ヶ江香久子	金田 朋洋	上村 清央	川井 恒
川上 悟司	川上 玲	川口 真平	川口 祐子	川崎 努
川崎 裕平	河津 省司	河本 里美	岸野 充浩	北村 弘樹
橋高 和美	木戸 晶	木下 一之	紀平 啓子	木村 知
久保田一徳	久保 武	熊野 智康	黒住 昌弘	黒田 昌志
小池 雅美	高良 真一	呉 隆浩	小藤 昌志	後藤 靖雄
小橋 優子	小松めぐみ	古森 正宏	小山 恵子	小山 孝一
齊藤美穂子	崔 秉哲	境 昌宏	坂本 努	坂本 雅彦
佐久川紀彦	朔 円香	佐藤 久志	佐藤 洋造	眞山 靖史
寒川由季子	篠原真木子	芝田 豊通	島本 茂利	清水 正之
謝 毅宏	真貝 隆之	新村理絵子	末元幸一郎	杉江 愛生
鈴木 昌志	鈴木美奈子	瀬戸 明香	曹 博信	園田 明永
高木 康伸	高橋志津江	高橋 延和	高橋 雅子	田口 優子

武富 綾子	田尻 宏之	立入 誠司	田中絵里子	田中 宏明
千勝 博子	角尾 美果	坪井 伸暁	坪倉 卓司	出水 祐介
徳田由紀子	徳弘 光邦	栃木 佳宏	富永 循哉	豊田 達也
永井 京子	中川 忍	長澤 伸二	中澤 賢	中下 悟
中島 一彰	中田 一恵	中田 一祥	中田 健生	中西 順子
中村 友則	中山 淳	中山 智博	西川 敦	西田 暁史
西田千嘉子	西堀 弘記	野澤 麻枝	野間 聖子	野宮 琢磨
長谷川博一	秦 良一郎	馬場麻衣子	羽原 理佐	濱口 真吾
原 崇子	原田なつみ	日山 篤人	兵頭 剛	平川 浩一
福田 哲也	藤井 進也	藤村 幹彦	藤本 記子	藤原 寛康
舩津 宏之	船曳 知弘	文 圭三	堀之内 信	堀 祐郎
前林 俊也	町田 治彦	松下 剛	水谷 好秀	溝口 史樹
三原 督	宮崎 延裕	宮崎 浩美	宮本 直和	村田 友佳
室田真希子	森田 英夫	森 嘉子	屋代 英樹	矢内原 久
彌永 由美	矢原 勝哉	矢吹 隆行	山口 健	山口 雅人
山崎 拓也	山下 武則	山下 富夫	山根登茂彦	山本 亮
山本 聡	山本 伸子	矢村 正行	湯浅 憲章	横川 正樹
横谷 繁郎	米田 和英	若田 智子	渡辺 慎	

平成 15 年度放射線科専門医更新認定者および追加認定者氏名

理事長 遠藤 啓吾

Ⅰ. 放射線科専門医認定委員会の審査により、平成15年度の放射線科専門医資格更新を認定された方は下記の通りです。

なお、今回の更新有効期限は平成20年 8 月31日です。

記

(専門医認定No. 順 466名)

2014 茶谷 正史	2015 浅野 章	2016 村田佳津子	2017 藤田 昌宏
2018 塚田 博	2020 堀口 純	2021 小林 久隆	2022 荻野伊知朗
2024 竹下 浩二	2025 山崎 秀哉	2026 竹下 強志	2027 三宅 康弘
2028 高橋 直也	2029 内迫 博路	2030 叶内 哲	2031 西村 幸洋
2032 高邑 明夫	2033 若林 雅人	2034 玉田 俊明	2035 辻 志郎
2036 本山 新	2037 濱 光	2038 有賀 明子	2039 山角 麻美
2040 渡邊 奈美	2041 辻 誠	2042 石津 浩一	2043 小林 昌幸
2044 満尾 浩明	2045 難波隆一郎	2046 黒田 弘之	2047 北之園高志
2048 森本 静夫	2049 絹谷 清剛	2050 柴田 冬樹	2051 中野 慎一
2052 白淵 浩明	2053 中木 浩司	2055 遠山 典宏	2056 生島 仁史
2057 藤本 圭志	2058 渡邊 順久	2059 加藤 照美	2060 安藤 容子
2061 若尾 文彦	2062 佐藤 敏輝	2063 横田 啓	2064 奥野 芳茂
2065 広瀬仁一郎	2066 多田智恵子	2067 森山 高明	2069 根本 和久
2070 勝盛 哲也	2071 片山 通章	2072 伊東 克能	2073 石塚久美子
2074 磯村 高之	2075 戸邊 公子	2076 澤 久	2077 増井 孝之
2078 柯 偉傑	2079 手島 昭樹	2080 丸山 邦弘	2081 林 真也
2084 久保田 靖	2085 市川 智章	2086 三木 幸雄	2087 藤森 研司
2088 小牧久和子	2089 河上 聡	2090 永田 憲司	2091 佐藤 章仁
2092 田仲三世子	2093 山本 宏昭	2094 小林 茂雄	2096 小竹 正昌
2097 赤木由紀夫	2098 大野 美穂	2099 手島 泰明	2100 政井 章
2101 淡河恵津世	2102 新武 慶興	2103 相墨 仁	2104 岡田 秀樹
2105 天野 雅子	2106 奥田 智子	2107 西尾 博	2108 田中 伸幸
2109 佐藤龍一郎	2110 松山 三男	2111 高崎るみ子	2112 伊藤 剛
2113 津田 晋二	2114 蒔田 修	2115 倉光 達也	2116 安永 祐三
2117 濱武 諭	2118 八幡 訓史	2119 鐘撞 一郎	2120 柳町 徳春
2121 仙波 芳樹	2122 淡河 喜雄	2123 中島 留美	2124 丸田 力
2125 神武 裕	2126 上甲 剛	2127 小石 元紹	2128 井藤 隆太
2129 三宅 浩	2130 松村 康正	2131 永田 保	2132 横山 堅志
2133 石井 巖	2134 竹井 秀敏	2135 川森 康博	2136 副島 京子

2137	宇野 隆	2139	和田裕美子	2140	伊藤 直記	2142	浦部 真平
2144	加藤 明	2145	櫻本 和樹	2146	黒川 弘晶	2147	内田 佳孝
2148	川合 宏彰	2149	小野 伴	2150	古田 雅也	2151	秋田 雄三
2152	姫野 佳郎	2153	中村 一彦	2154	青木 純	2155	樋口 正一
2156	長谷川 健	2157	飯田 英次	2158	粟井 和夫	2160	西多 俊幸
2161	上田 和彦	2162	小口 和浩	2163	大島 孝江	2164	徳丸 阿耶
2165	清水 俊寿	2167	林 高樹	2168	武井 一喜	2169	吉田弘太郎
2170	大西 洋	2172	三宅 智	2173	游 逸明	2174	今井 迅
2175	板垣 康	2176	渡辺 直人	2177	福原 昇	2178	上田 真也
2179	清野 修	2180	富山 憲幸	2181	服部 英行	2182	竹内 規之
2183	萬葉 泰久	2184	中川 恒明	2185	吉田伸太郎	2186	井上 剛志
2189	井野 彰浩	2190	園村 哲郎	2191	佐藤 正之	2192	久田 洋一
2193	小野 広幸	2194	前沖 智子	2195	広沢 邦浩	2196	西峯 潔
2197	田淵 絵美	2198	中村 進	2199	大石 元	2200	久保田勇人
2201	原田 治	2202	北 敬介	2204	上野真一郎	2205	松尾 良一
2207	溝端 敏晴	2209	薄木 洋明	2210	田中優美子	2211	竹内 亮
2212	対馬 義人	2213	波多 信	2214	友田 要	2215	野畠 浩司
2216	木上 裕輔	2217	木戸 尚治	2218	邵 啓全	2219	廣橋 伸治
2220	前田 宗宏	2221	石田 泰之	2222	寺田 正樹	2223	阪口 浩
2224	鳴海 善文	2225	山口慶一郎	2226	岸本 理和	2227	門田 強
2229	津島 寿一	2230	杉村 宏	2231	安藤 啓一	2232	光實 淳
2233	高木 亮	2234	河野 伸明	2235	柳川 繁雄	2236	川俣 博志
2237	長谷川 貴	2238	新美 浩	2239	吉川 明輝	2240	遠藤登喜子
2241	豊島 宏	2242	高橋 政之	2243	高安 幸生	2245	山川 稔隆
2246	岸 和史	2247	酒井 伸也	2249	丁子 清	2250	森 耕一
2251	安岡 博之	2252	秋根 康之	2253	栗原 紀子	2254	天野 康雄
2255	小俣 香	2256	中嶋 美佳	2257	中村 元俊	2258	祖母井 努
2259	酒井 修	2260	一条 勝利	2261	古川 智明	2262	尾崎 裕
2263	内田 孝俊	2264	森 雅一	2265	長置 健司	2266	小川 洋二
2268	織内 昇	2269	木造 大夏	2270	宮本 勉	2271	影山 淳一
2272	小山 雅司	2273	橋本 順	2274	鶴 博生	2275	中田 典生
2276	将積 浩子	2277	松田 明美	2278	佐藤みどり	2279	木村 英明
2280	望月 隆男	2281	久住 浩美	2282	神立 進	2283	友井 正弘
2284	前田 浩喜	2285	阿部 達之	2286	杉本 幸司	2287	三原 信
2288	牛見 尚史	2289	井上 武	3058	大須賀慶悟	3059	山崎美保子
3060	今井 康則	3061	最上 拓児	3062	合田真由美	3063	佐藤 公彦
3064	直樹 邦夫	3065	加藤 文雄	3066	斎藤 和歌	3067	河島 光彦
3068	向井 敬	3069	溝脇 尚志	3070	佐々木真弓	3071	吉川 大平
3072	清水 敦夫	3073	池満陽美子	3074	水野 恵子	3075	浅井 俊晴
3076	山岡 利成	3077	戸成 綾子	3078	木本 光則	3079	飴谷 資樹
3080	鈴木 滋	3081	大野 良治	3082	雑賀 一美	3083	高田 明浩
3084	佐々木良平	3085	伊藤 康志	3086	阿保 斉	3087	朽木 恵

3088	山本 由佳	3089	福永浩太郎	3090	吉野 聰彦	3091	塩崎 俊城
3092	中田 早紀	3093	加藤 雅宏	3094	伊藤 晋	3095	小平 泰永
3096	遠藤じゅん	3097	土肥美和子	3098	行廣 雅士	3099	栞原 恭子
3100	高間 都支	3101	東川 元紀	3102	山田 有則	3103	笠原 利之
3104	中谷 和郎	3105	奥村 能啓	3106	松倉 弘明	3107	田淵 達也
3108	佐藤 雅史	3109	木津 修	3110	柳 剛	3111	伊原 昇
3112	笠川 賢二	3113	田中 壽	3114	石岡 久和	3115	中川 俊男
3117	西尾 正美	3118	井上 優介	3119	阿部光一郎	3120	高須 深雪
3121	戸崎 光宏	3122	森本 真美	3123	姫井 健吾	3124	南 麻紀子
3125	高橋 哲	3126	水野 晋二	3127	日野 圭子	3128	本多 修
3129	飯田 崇	3130	藤代 早月	3131	渡辺 智文	3132	武田 賢
3133	阿部 康一	3134	中川 博敏	3135	場崎 潔	3136	堀 雅敏
3137	長畑 史子	3138	町田 雪乃	3139	葛西 健二	3140	人見 次郎
3141	伊福 浩水	3142	宮嶋 公貴	3143	小池 繁臣	3144	北本 佳住
3145	国又 肇	3146	今井 直美	3147	栗原 宏明	3148	北村 ゆり
3149	山下公仁彦	3150	小田 一成	3151	金原 一弘	3152	和田 仁
3153	前田 清澄	3155	峯瀬真理子	3156	木原 好則	3157	福光 延吉
3158	安東 道夫	3159	林 敏彦	3160	松下 晴雄	3161	田中 慈雄
3162	稲場 文隆	3163	沖 陽輔	3164	三木 徹生	3165	藤澤 英文
3166	宮川 英男	3167	笹井 信也	3168	銚立 博文	3169	塚本 勝彦
3170	守屋 信和	3171	竹内 義人	3172	倉持 正志	3173	小泉 雅彦
3174	石井 章彦	3175	五味光太郎	3176	角井 一之	3177	本田 伸
3178	長谷川 実	3179	北村 直幸	3180	大野 達也	3181	笹本 龍太
3182	藤永 康成	3183	仲村 明恒	3184	森川 努	3185	吉儀 淳
3186	横川 徳造	3187	吉村 博英	3188	平松 一秀	3189	道下 宣成
3190	永田 環	3191	余田 栄作	3192	神前 裕一	3194	宮澤 昌史
3195	佐々木 繁	3196	井上 淳一	3197	大石 園美	3198	上田 耕司
3200	小林 勝弘	3201	越後 純子	3202	末吉 智	3203	杉山 浩一
3204	安田 亮	3205	岡崎 肇	3206	前林 勝也	3207	間島 一浩
3208	江口 信子	3209	馬場 康貴	3210	市村 亘	3211	本田 力
3212	長尾 佳宏	3213	加藤 弘毅	3214	本折 健	3215	穴井 洋
3217	山口健一郎	3218	小笠原伸彦	3219	岡本 英明	3220	中根 正人
3221	青木 良純	3222	徳丸 直郎	3223	斎藤 拓郎	3224	河中 功一
3225	中野 敬子	3226	野田 能宏	3227	阿部 保子	3228	増田裕美子
3229	長濱 敏郎	3230	西 潤子	3231	西村 潤一	3232	高 正隆
3233	濱中 章洋	3234	小林 有香	3235	浦部 祐子	3236	山本 亨
3237	鶴崎久美子	3238	岡島 雄史	3239	和田 昭彦	3240	堀上 謙作
3241	奥泉 譲	3242	安田 剛	3243	菊池 隆徳	3244	宮坂実木子
3245	輿石 剛	3246	今井美智子	3247	田中 大三	3248	飯田 慎
3249	吉尾 里夏	3250	小林 雅夫	3251	鈴木 孝之	3252	宮崎 敦史
3253	津田 雅視	3254	森 浩希	3255	飯村 文俊	3256	山本 哲史
3257	松本 篤子	3258	野口 尚美	3259	川越 隆司	3260	津布久雅彦

3261 森下 博之	3262 伊牟田誉子	3263 権丈 雅浩	3264 庭月野 浩
3266 金光 直子	3267 吉良 朋広	3268 山城 正司	3269 田上 利佳
3270 並木 珠	3271 清水 輝彦	3272 友成健一朗	3273 松岡 利彦
3274 林田 郷子	3275 徳野恵津子		

II. 放射線科専門医更新追加認定者氏名

記

平成13年度 認定更新猶予者(有効期限：平成18年 8 月31日)(2 名)

0116 中島 彰久 0220 木下 博史

平成14年度 認定更新猶予者(有効期限：平成19年 8 月31日)(5 名)

0072 久保田昌宏 0085 橋本 眞侍 0319 西澤 一治 1924 神波 雅之
2973 佐藤 則子

臨床研修義務化(スーパーローテート)後の専門医受験資格年数について

日本医学放射線学会理事長 遠藤 啓吾
専門医認定委員会委員長 松井 修

平成16年度より開始される臨床研修義務化(いわゆるスーパーローテート)後の専門医受験資格年数につきまして、当学会専門医認定委員会において昨年度から慎重に審議して参りました。その結果、平成15年8月30日開催の理事会において専門医受験資格年数については以下のごとく変更されました。

一次試験受験資格：2年間の研修終了後、さらに修練機関で2年以上の診断・核医学、治療の研修を受けたもので、学会入会后2年以上経過したもの(スーパーローテート期間中の修練機関への在籍は修練期間として認めない)

二次試験受験資格：一次試験合格後2年以上のものに受験資格を与える。但し、2年間は学会が認定した修練機関あるいは修練協力機関において診断・核医学または治療を研修したものとする。

上記の内容が満たされていれば専門医試験受験可能です。従来に比べ放射線科専門医取得までの期間が1年延長することになります。平成16年3月に行われる医師国家試験に合格した医師から適応されます。

会員皆様のご理解を宜しくお願いします。

第 58 回心臓血管放射線研究会の御案内

理事長 遠藤 啓吾
会長 隈崎 達夫

第58回心臓血管放射線研究会を下記の如く開催いたします。

記

第58回研究会会長：佐久間 肇 三重大学医学部放射線医学教室
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL：059-232-1111，FAX：059-232-8066
e-mail：sakuma@clin.medic.mie-u.ac.jp

期 日：平成16年 1 月17日(土)
会 場：ヒルトン名古屋
名古屋市中区栄1-3-3，TEL：052-212-1111

一般演題発表の他，シンポジウム，教育講演，症例検討会を予定しています。

シンポジウムは『動脈硬化プラークの画像診断』をテーマに，併行開催の第14回日本心血管画像動態学会と合同企画で行います。

演題募集要項：

- 1) 心大血管，末梢血管の画像診断と治療に関する演題を募集します。
- 2) 第58回会長あて，e-mailで応募してください。
- 3) 『演題名・発表者名・施設名』を日本語と英語で記入してください。

発表形式：口演(コンピュータプレゼンテーション)

演題締切：平成15年10月17日(金)必着

代表幹事：栗林幸夫
慶應義塾大学医学部放射線診断科

事務局代表：内藤博昭
担当：山崎圭以子
国立循環器病センター放射線診療部内
TEL：06-6833-5012，FAX：06-6872-7486
e-mail：yamakei@hsp.ncvc.go.jp

**第 17 回日本医学放射線学会冬季セミナー
- 生涯教育講演 - 開催のお知らせ**

理事長 遠藤 啓吾
会長 隈崎 達夫

下記の通り第17回日本医学放射線学会・放射線科専門医会・医会共催で冬季セミナーを開催致します。
本セミナーは日医放専門医認定更新単位数10単位です。

日 時：平成16年 1 月24日(土)
会 場：レガロホテル福岡(福岡市博多区千代1-20-31)
世 話 人：鬼塚英雄(田主丸中央病院)

テーマ：これだけは知っておきたい画像所見と鑑別診断

プログラム

- | | | |
|-------------------|--|--|
| 8 : 45 ~ 10 : 15 | 頭部・脊椎
「これだけは知っておきたい脳血管障害の画像診断」
「脊椎・脊髄疾患」 | 座長 松永尚文(山口大学)
安陪等思(久留米大学)
興相征典(産業医科大学) |
| 10 : 30 ~ 12 : 00 | 胸部
「肺病変のX線所見：CTによる解析」
「縦隔腫瘍のCT / MRI診断」 | 座長 山下康行(熊本大学)
村山貞之(琉球大学)
坂井修二(九州大学) |
| 12 : 00 ~ 13 : 30 | ランチョン・セミナー
「ビートルズ イン コペンハーゲン - “研究”から“常識”になるまで -」 | 座長 鬼塚英雄(田主丸中央病院)
森 宣(大分医科大学) |
| 13 : 30 ~ 15 : 00 | 後腹膜・骨盤
「腎臓と後腹膜の画像診断」
「婦人科画像診断の考え方」 | 座長 岡崎正敏(福岡大学)
杉村 宏(宮崎医科大学)
松尾義胤(西台クリニック) |
| 15 : 15 ~ 16 : 45 | 骨・軟部
「リウマチ性疾患の画像診断」
「軟部腫瘍 - 知っておきたい基本事項と診断のポイント」 | 座長 工藤 祥(佐賀医科大学)
上谷雅孝(長崎大学)
青木隆敏(産業医科大学) |

事前登録費：日医放会員 3,000円(当日 5,000円), 日医放非会員 5,000円(当日 8,000円)
申し込み方法：受講申し込み書に参加費を添え現金書留で平成16年 1 月12日迄に下記にお申し込み下さい。
折り返し領収書兼受講証及び会場案内図をお送りします。
〒355-0055 埼玉県松山市松風台4-26 放射線科専門医会・医会事務局宛 TEL : 0493-35-4649

第17回冬季セミナー参加申込書

			平成 年 月 日
日医放会員No (非会員は)	氏 名	所属および住所	専門医No.

*キャンセルされる方は、1 月12日までにご連絡頂ければ、事務手数料として1,000円を差し引き返金いたします。

第 15 回骨軟部放射線研究会案内

理事長 遠藤 啓吾
会長 隈崎 達夫

第15回骨軟部放射線研究会を下記のごとく開催いたします。

記

第15回当番世話人：大川 元臣(香川医科大学)

会 期：平成16年 1 月30日(金)・ 1 月 31日(土)

会 場：香川県民ホール

住所：〒760-0030 香川県高松市玉藻町 9 番10号

電話：087-823-3131 FAX：087-823-3124

1. 一般演題：PCプレゼンテーションを推奨
2. 特別講演：「骨腫瘍の病理(仮題)」
町並 睦生先生 (河北病院 病理)
3. その他 ランチョンセミナーを予定しています。

一般演題募集要項：

- 1)骨，関節，軟部疾患(乳房を除く)の診断と治療
- 2)画像または病理学的に興味ある所見を有する症例報告
- 3)演題は e-mail：jsmr@jikei.ac.jp による申し込みをお願い致します。
発表抄録 演題名・発表者名・所属名を記入 抄録 400字以内
- 4)演者は，日本医学放射線学会の正会員であることを要します。
- 5)演題の採否は，当番世話人に一任ください。

発表形式：PCプロジェクター 1 台とスライドプロジェクター 2 台を用意します。どちらを希望するか抄録用紙に記入してください。出来る限りPCプロジェクターによる発表を推奨します。

演題締切：平成15年10月末日必着

演題送付先：〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

東京慈恵会医科大学 放射線医学講座内

骨軟部放射線研究会事務局宛

e-mail：jsmr@jikei.ac.jp

電話：03-3433-1111 内線3360

F A X：03-3431-1775

厚生労働省から下記の通知がありましたのでご報告致します。

緊急安全性情報

経口腸管洗浄剤(ニフレック)による腸管穿孔及び腸閉塞について

1992年6月の発売から2003年9月までの11年間(推定累計使用患者:約1,772万人)にニフレックとの関連性が否定できない腸管穿孔症例が11例(うち死亡5例)及び腸閉塞症例が7例(うち死亡1例)報告されています。

本剤の使用に際しましては、特に下記の点に十分ご注意くださいように御願ひ申し上げます。

1. 排便、腹痛等の状況を確認しながら慎重に投与すること

腸管内圧上昇による腸管穿孔を起こすことがあるので、排便、腹痛等の状況を確認しながら、慎重に投与するとともに、腹痛等の消化器症状が現れた場合は投与を中断し、適切な検査等を行い、投与継続の可否について慎重に検討して下さい。

2. 腸閉塞でないことを確認した後に投与すること

腸閉塞を疑う患者には問診、触診、直腸診、画像検査等により腸閉塞でないことを確認した後に投与して下さい。

又、腸管狭窄、高度な便秘、腸管憩室のある患者には慎重に投与して下さい。

3. 高齢者には観察を十分に行うこと

特に高齢者において腸管穿孔、腸閉塞を起こした場合は、より重篤な転記をたどることがあるため、時間をかけて投与し、投与中は観察を十分行って下さい。

下記の通り，厚生労働省医薬局安全対策課から通知がありましたのでご報告致します．

患者に永久的に挿入された診療用放射線照射器具
(ヨウ素 125シード，金 198グレイン)の取扱いについて

I．都道府県，衛生主管部(局)長殿

医薬安第0313001号

平成15年3月13日

厚生労働省医薬局安全対策課長

診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出について

診療用放射線照射器具を挿入された患者の取扱いについては，医療法施行規則第30条の15に基づき，対応してきたところであるが，近年，医学の進歩に伴い，我が国においても診療用放射線照射器具を利用したより適切な治療を可能とする環境を整える必要が生じたことから，標記について，「医療放射線管理に関する検討会」において検討を行い，「診療用放射線照射器具を永久的に挿入された患者の退出に関する指針(別添)をとりまとめたところである．今後，診療用放射線照射器具を用いた治療を行う際には，この指針を参考に，安全性に配慮して実施するよう関係者への周知徹底方をお願いする．

II．都道府県，衛生主管部(局)長殿

医政指発第0715002

平成15年7月15日

厚生労働省医政局指導課長

患者に永久的に挿入された診療用放射線照射器具
(ヨウ素 125シード，金 198グレイン)の取扱いについて

III．社団法人日本医学放射線学会長殿

医政指発第0715003号

平成15年7月15日

厚生労働省医政局指導課長

患者に永久的に挿入された診療用放射線照射器具
(ヨウ素 125シード，金 198グレイン)の取扱いについて

表記について，別紙のとおり各都道府県衛生主管部(局)長あてに通知を发出了したので，その趣旨をご了知いただき，傘下会員に対する周知，協力方よろしく申し上げます．

IV．文部科学省告示第128号

放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行令(昭和35年政令第259号)第1条第3号の規定に基づき、同号の医療用具として次のものを指定する。

平成15年7月15日

文部科学大臣 遠山 敦子

薬事法施行令(昭和36年政令第11号)別表第1 器具器械の項第10号に掲げる放射性物質診療用具であって、人の疾病の治療に使用することを目的として、人体内に挿入されたもの(人体内から再び取り出す意図をもちに挿入されたものであって、ヨウ素125又は金198を装備しているものに限る)。